「凧が最も高く上がるのは、風に向かっている時であって、
風に流されている時ではない」

（Kites rise highest against the wind, not with it.）

校長 桑野 啓子

11 月 5 日には第 11 回運動会を行うことができました。保護者のみなさんには、入れ替え制について、ご理解とご協力をいただきまして大変ありがとうございました。9 年生の長崎宿泊に続いて、11 月 25 日には 6 年生の広島平和宿泊学習を実施しました。また昨年は実施できなかった校外学習にも、234年の子どもたちが出かけることが叶いました。どの学年も「こうして出かけることができるという感謝の気持ちを大切にしたい」と出発しました。また11月20日には校区守る会のみなさんに主催していただき、秋の一日を「校区たんけん」で楽しませていただきました。12 月以降から 3 学期にかけて158年が校外学習を予定しています。学園では、換気、手洗い、手指消毒を継続して参ります。ご家庭におかれましても、検温等の健康観察にご協力くださっています。ありがとうございます。府の感染ステージもグリーンになり、実施できる教育活動が戻ってきました。しかし緩みすぎることなく、密を避ける距離を心がけながら活動していきます。11 月 25 日からは、可能な範囲での調理実習も再開いたしました。その際には、久しぶりに「ぷちサポ」登録メンバーさんに調理実習を支援していただきました。2 学期の終わりに向かう 12 月もみんなで、体調に留意しながら丁寧に日々を過ごしていきたいです。

さて、11月13日には箕面市イングリッシュエクスプレッションが開催され、彩都の丘学園からも 5678 年と海外部門の 5 名の代表が出場しました。箕面市で 1 年生から英語がはじまってから、今年はじめて 5 年 6 年が出場することになりました。日頃の英語学習の成果を十分に発揮していました。また英語指導助手（ALT）の先生がたと一緒に放課後も練習を重ねて、自分の考えたことを英語でしっかりと表現していて、どの人の発表も立派でした。（学園ブログでも紹介させていただいております）

他校の8年発表者の中で、「私の思い出～どうやって自分自身を変革したか～」（My memory of how I changed myself for the better）をテーマに、表現力豊かに力強く発表する生徒に出会いました。①人は変われる。②出会う人によって人生は大きく変わる。③出会う人に恵まれても、それだけでは変革はない。自分が諦めずに努力を継続すること。その生徒さんは、自分のこれまでの経験から学んだことを 3 つのポイントにまとめていました。そして最後にイギリスの政治家、作家であるウィンストン チャーチルの言葉を引用していました。「凧が最も高く上がるのは、風に向かっている時であって、風に流されている時ではない。」（Kites rise highest against the wind, not with it.）心に響く発表でした。どんな状況下においても、保護者、地域の方々とご一緒に「学ぶ 鍛える つながる」をめざして、彩都の丘学園のみんなで、気持ちをあわせて、どんな風にも向かっていきたいと考えています。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。